

■ びわこ学院大学 教育福祉学部 スポーツ教育学科

教育福祉学部スポーツ教育学科 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

知識・技能	①人間の発達や地域の発展に対し、スポーツが貢献しうるための専門的知識や技能を修得している。
思考・判断・表現	②スポーツをめぐる様々な問題状況を積極的に発見し、異文化理解を踏まえた国際的な視野を持ち、的確な判断ができる。 ③スポーツ教育への情熱と倫理観を持ち、豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲・態度	④人間と地域に対し高い関心を持ち、課題解決のための継続的な研鑽ができる。 ⑤人間と地域に対し直接的な関わりを基本とし、現場での適切な行動ができる。

教育福祉学部スポーツ教育学 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

建学の精神、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を達成するために、「教養科目」「専門科目」で教育課程を編成する。授業科目は、講義、演習、実習・実技等を適切に組み合わせて開講する。

- 教養科目は学部共通であり、「①大学入門」「②共通教養科目」「③外国語・体育科目」「④留学生」に区分して授業を開講する。
 - ①大学入門…大学における学びの基本の習得、社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の養成
 - ②共通教養科目…バランスのとれた豊かな教養の獲得
 - ③外国語・体育科目…（外国語）「読む・書く・話す・聞く」の4技能の習得、健康の基礎づくりへの理解促進、スポーツ科学への導入及び実践
 - ④留学生…基本的な日本語会話の習得、日本事情の理解（留学生限定科目）
- 専門科目に「⑤学部共通科目」を設け、必修科目を開講する。
 - ⑤学部共通科目…「教育」と「福祉」の双方の視点、立場を身につけるための基盤となる多様な価値観を学ぶ。
- 専門科目を「⑥学科基幹科目」「⑦スポーツ教育科目」「⑧中等教育科目」「⑨特別支援教育科目」「⑩卒業研究科目」に区分して授業を開講する。
 - ⑥学科基幹科目… スポーツ教育を体系的に理解するために必要な授業科目を配置し、全て必修科目とする。地域スポーツに対する理解を深め、課題を探究する基本的態度、表現力、主体性を育み、多様性を受容する姿勢を身につけるため、1年次に「基礎演習Ⅰ」、2年次に「基礎演習Ⅱ」を履修する。
 - ⑦スポーツ教育科目… 健康とスポーツの発展に関する課題解決に必要な専門的知識を習得する。
 - ⑧中等教育科目… 中等教育の現場で必要な基本的知識・技能を幅広く習得する。
 - ⑨特別支援教育科目… 特別支援教育の現場で必要な基本的知識・技能を幅広く習得する。
 - ⑩卒業研究科目… スポーツ、中等教育、特別支援教育を取り巻く諸課題のうち自ら選択した課題を対象に、専門知識や思考方法の習得及び創造的思考力を習得するために、3年次に「総合演習」、4年次には「卒業研究」を履修する。

上記教育課程を通じて、健康増進や地域スポーツの発展に貢献できる人物がもつべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性を育む。

各科目の学習成果は到達目標・評価基準に照らし合わせて評価する。